

様式 4

| <p>令和 7 年度第 3 回 富士見市図書館協議会 議事録</p> | | | | | | |
|--|---|--|------|----------------|------|------|
| 日 時 | 令和 7 年 1 2 月 1 2 日 (金) | | 開会 | 午前 1 0 時 0 0 分 | | |
| | | | 閉会 | 午前 1 1 時 3 0 分 | | |
| 場 所 | 中央図書館 レセプションルーム | | | | | |
| 出席者 | 委 員 | 木下委員長 | 野澤委員 | 西村委員 | 黒澤委員 | 今井委員 |
| | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 神馬委員 | 内海委員 | 藤巻委員 | 戸田委員 | 向井委員 |
| | | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| | 事務局 | <p>○教育委員会生涯学習課 岡課長 西澤主査 田中主任</p> <p>○図書館 長谷川中央図書館長 宮崎中央図書館副館長 大里鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長</p> | | | | |
| 公 開 ・ 非 公 開 | 公開 (傍聴者 2 名) | | | | | |
| 次 第 | <p>図書館協議会</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 各館事業報告 (令和 7 年 9 月～令和 7 年 1 0 月活動報告) 中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館</p> <p>3. その他</p> <p>4. 閉会</p> | | | | | |
| 配 布 資 料 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 富士見市図書館協議会 令和 7 年度 1 2 月定例会次第 ・ 2 0 2 5 年 9 月から 2 0 2 5 年 1 0 月活動報告 (中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館) ・ さざなみだより 2 0 2 5 年 1 1 月号・1 2 月号 ・ とびらしんぶん 2 0 2 5 ねん 1 2 がつ ・ BOOK ADVENTURES 第 2 5 5 号 ・ つるせにししんぶん 2 0 2 5 年 1 0 月号・1 1 月号・1 2 月号 ・ ぶんちゃんしんぶん 2 0 2 5 年 1 0 月号・1 1 月号・1 2 月号 ・ 富士見市電子図書館利用案内 | | | | | |

議 事 内 容

| | |
|-----|--|
| 委員長 | 図書館協議会会議 1. 開会 2. 各館事業報告（令和7年9月～令和7年10月活動報告） |
| 図書館 | 【中央図書館】 ・資料に基づき報告 お話会や映画会等の数字などは資料の活動報告の通りである。 自主事業の報告 「としょかんクラブ」 毎月行っているとしょかんクラブは子どもたちも慣れ、楽しくクラブに通っている。9月は「ボードゲームで遊ぼう！」10月はおすすめ本を読みあう「好きな本を読みあっこしよう」という内容で行い、図書館は本を借りるだけでなく、楽しい場所だと感じてもらえるように取り組んでいる。 9月 「図書館でボードゲームをしよう」 図書館を楽しむ場所としてイベントの定着を目指している。参加した方たちからは「楽しかった」「また参加したい」などのご意見を伺っているので、告知方法やリピーターを増やすための取り組みなどを考えていきたい。この事業は、11月に行う図書館まつりの中でも開催するイベントで、その宣伝も兼ねていた。 10月 「水谷東小学校3年 ビブリオバトルデモ」 小学校から依頼があり、学校へ赴いてビブリオバトルの説明とデモンストレーションを実施した。ビブリオバトルは高学年からの参加が多く、3年生への説明は初めての依頼だったが思いのほか反応がよかった。今後も読書を楽しめる方法として積極的に依頼を受けたい。 |
| 図書館 | 【鶴瀬西分館】 ・資料に基づき報告 お話会や映画会等の数字などは資料の活動報告の通りである。 |

自主事業の報告

9月

9月は「認知症月間」です。

市と連携したミニ展示を全館で実施。

「関沢児童館コラボイベント」

本イベントは子どもに関わる施設同士の連携として行われ、昨年より内容や種類を充実させて開催した。今後もコラボの意義を考え、子どもたちに還元できる形で取り組んでいく予定であり、来年度以降も継続して実施する方向で検討する。

「子ども食堂おはなしかい（たくちゃん食堂）」

図書館の子ども向け活動でありつつ、地域の協力を得ることでファミリー向けの活動になっていたと実感している。利用者の流れが流動的でお話会実施のタイミングは難しいものの、昨年よりお話会の回数を増やすことで利用者の目に留まりやすくなり、多くの方に参加いただけた。

10月

「ハロウィントレーディングしおり（第二弾）」

ハロウィンと10月の読書週間に合わせて10月末まで実施した。本の貸出やガチャの利用を通じて、しおりをパズルとして完成させる催しとなっている。

「ちょこボラの会 しおり編（4色の紙で編み込む葉）」

参加者が楽しみながらしおりを折る企画を実施。手先が器用で折る意欲のある参加者の作品を他の人にも共有し、得意な人の「折りたい気持ち」を図書館参加につなげる、大人向けの企画として展開している。

「スペシャルおはなしかい・いちぶえいご」

年に3回開催している。日本語と同じように季節感を意識しながら実施している。

「学校連携」

富士見台中学校の社会体験事業の職場体験を受け入れ、生徒たちには図書の予約や検索、ポップ作成、お話会の準備などさまざまな業務を体験してもらった。

鶴瀬小学校2年生が来館。予定していた1クラスが学級閉鎖により来館できなかったため、11月に来館予定。

【ふじみ野分館】

・資料に基づき報告
お話し会や映画会等の数字などは資料の活動報告の通りである。

10月の慶櫻ふじみ保育園では、富士見市おはなしボランティアすぷんふるの協力によりストーリーテリングを組み込んだ。小さい子どもたちも真剣に聞き、怖い場面やユーモラスな場面では笑いなどの反応があり、耳で聞くお話を楽しんでいました。

自主事業の報告

「ぶんちゃんひろば」

毎月幼児・小学生を対象に、子どもたちの興味を広げるため毎回異なるテーマで実施している。9月は絵本『ものぐさトミー』を使ったアニメーションを行った。アニメーションとはゲームなどの手法を用い、物語を身近に感じることで本を読む力をつけることを目的としている。参加人数は少数であったがリラックスした雰囲気楽しく行えた。10月は富士見高校英語部の協力で英語のお話し会を開催し、生徒が工夫したプログラムや会場の演出により、小さな子どもたちも楽しむことができた。生徒の準備や意欲の高さが印象的で、参考になる点が多かった。

9月

「ハーブ講座～オリジナルハーブティーづくり～」

ハーブ講座は毎年開催しており、今年是要望の多かったハーブティー作りを取り入れた内容で実施した。参加者アンケートでも高い満足度が得られており、今後も継続して開催する予定である。

「勝瀬de縁日 小学生ミニビブリオバトル」

ふじみ野交流センター主催の「勝瀬de縁日」が開催され、地域の子どもたちの「ふるさとづくり」としてふじみ野分館も3つのイベントで参加した。小学生ミニビブリオバトルはその中の1つである。ふじみ野小学校と勝瀬小学校の協力を得て、小学生が3分間でおすすめの本を紹介した。バトラーとしての参加はハードルが高いようだが、実際に参加した子どもたちは楽しんで発表しており、来年も参加したいとの感想があった。また、ふじみ野分館では勝瀬小学校の5年生に対してビブリオバトルのデモンストレーションをしており、来年度は今年の5年生が6年生として「小学生ミニビブリオバトル」に参加することを期待している。地域で大人も子どもも一緒に読書を楽しむ取り組みとして、今後も継続していく予定である。

| | |
|--|--|
| | <p>10月</p> <p>「エアロボックス®」 読み聞かせとエアロビクスを組み合わせで行い、心と体の健康をはぐくみ、親子のスキンシップを図る催し。 年4回開催のうちの3回目。10月は勝瀬原記念公園で開催し、普段図書館に来館しない方にも、図書館の魅力を伝える機会として実施した。</p> <p>「まじょたちのハロウィンパーティー」 毎年趣向を変えながら実施しており、今年は初めて夕方に開催した。今回は富士見市おはなしボランティアすぶんふるやふじみ野交流センターの協力で館内を巡るスタンプラリーを行い、子どもたちに楽しい体験を提供した。</p> <p>「図書館見学」 勝瀬小学校とふじみ野小学校の2年生が図書館見学に訪れた。勝瀬小学校は例年通り、図書館の利用マナーや本の並び方を見ながらの館内見学、バリアフリー図書などを説明し、ふじみ野小学校は見学時間が長くとれたため、電子図書館の案内も追加して行った。2年生ながら関心を示し、今後の利用につなげられる見学となった。</p> <p>「ふじみ野児童館『もこもこトコトコ』内赤ちゃん絵本講座」 ふじみ野児童館との合同企画。赤ちゃんにどんな絵本を読んだらいいのか、子育てをしていく中で読み聞かせがどのようにつながっていくのかなどを、マタニティ読みきかせアドバイザーの小林芽実氏にお話しいただいた。</p> <p>【質疑応答】</p> <p>委員長 読書の秋を迎え、各館でさまざまな取り組みが行われている。一方で、コロナ禍以降に制限されていた飲食を伴う企画について、現在どのような扱いになっているのかが分かりにくいと感じた。以前は、ハーブティーの試飲やハロウィンイベントでのお菓子配布なども行われていたが、現在はそれらがどのような形で実施されているのか、状況を確認したい。</p> <p>図書館 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、飲食や試飲に関する特別な制限は設けていない。現在は、ハーブティーの試飲やハロウィンイベントでのお菓子配布なども実施可能な状況であり、実際に各館で実施している。現在はコロナウイルスよりも市内でインフルエンザが流行しており、学級閉鎖等の影響により、図書館見学や職場体験の日程変更や規模縮小が生じる場合がある。</p> |
|--|--|

| | |
|-----|--|
| 委員長 | ビブリオバトルなどの取り組みは難しい面もあると思われる。ビブリオバトルという形式にとらわれず、低学年の児童でも参加しやすい形で、本を読んで感じたことや感動した点を、その時だけでなく時間を区切らずに自由に伝えられるような取り組みがあるとよい。 |
| 委員 | ビブリオバトルの取り組みは良いと思うが、発表や勝敗があると苦手に感じる子どももいるのではないか。 |
| 図書館 | イベント形式ではなく、少人数のグループで本を紹介し合う等の形式を取り入れている。 中央図書館で10月に実施したとしょかんクラブでは、本を交換しながら紹介し合う「読みあっこ」を行い、児童が無理なく参加できる取り組みとなっている。 |
| 委員長 | 水谷東公民館図書室では、どのような事業活動を行っているのか。 |
| 図書館 | 午後のみの開室であり、またスペースが限られているため、図書室単独での事業実施は難しい状況である。 そのため、公民館主催事業への協力や、近隣の保育所（第二保育所）の来館対応等を中心に活動している。 |
| 委員 | としょかんクラブの取り組みや、勝瀬小学校とのビブリオバトルをデモンストレーションとして実施し、その後に館内で展開している活動は大変意義深いと感じた。市内すべての小学校で同様の取り組みを行うことは難しい面もあるが、可能な形で広がっていくことを期待したい。 また、子ども向け事業が非常に充実している一方で、ふじみ野分館で実施された大人向けのアロマ講座のように、大人を対象とした取り組みについては今後どのように考えているのか関心がある。大人向け事業を企画・実施していく上では、利用者ニーズの把握が課題になると考えられるが、その点も含め、今後の方向性について意見を伺いたい。 |
| 委員長 | 外部講師を招く形もあるが、これまで多くの実践を積んできた図書館職員が講師を務める形も十分可能ではないかと思われる。 |
| 図書館 | 大人を対象としたイベントは各館で提案しており、史跡散歩、ハーブ・アロマ講座などを実施、今後は製本講座の実施も予定している。利用者ニーズの把握が課題であるが、職員やボランティアが講師となる形も含め、事業の拡充を検討している。 |
| 委員 | 富士見市では、夕方以降の時間帯を活用し、高校生など年齢の高い子どもたちの居場所づくりを、一部の児童館で始めている。 |

| | |
|-----|---|
| | <p>一方、図書館を居場所として活用することについては、富士見市の中央図書館では建物の構造や利用環境の面からイメージしにくいと感じる。</p> <p>他市の新しい図書館では、夜間に高校生が勉強や軽い会話をしながら過ごす姿が多く見られ、空間づくりやゾーニングによって良い居場所になっている例がある。しかし富士見市の図書館の場合は、構造的に同様の活用は難しいと感じられる。中高生向け事業や居場所づくりについてはどう対応していくのか。</p> |
| 図書館 | <p>中央図書館ではイベントと重ならない土日などは2階の集会室を学習スペースとして開放し、主にそこで勉強をしてもらっている。近年の新しい図書館では中高生向けの専用スペースを設ける例も多いが、この施設にはそうした独立した部屋がないため、現状では集会室を代替的に活用して対応している。今後についても、引き続き中高生の利用促進に向けた方策を検討していく。</p> |
| 図書館 | <p>3. その他</p> <p>「第44回富士見市社会福祉大会」にて図書館で活動しているボランティアが表彰を受ける。</p> <p>対象は富士見市おはなしボランティアすぶんふる、読み聞かせボランティアあいあい、富士見市中央図書館修理ボランティアの3組である。修理ボランティアは団体ではないため、図書館が代理で表彰を受け、活動場所である親子ふれあいの部屋に賞状を掲示する。表彰式は2月予定。</p> <p>ふじみビデオクラブよる図書館のプロモーション動画鑑賞</p> <p>ふじみビデオクラブが制作した富士見市立図書館のプロモーション動画が、市の公式YouTubeチャンネルで公開されており、その内容紹介を行った。動画では、中央図書館の30周年を記念し、施設の特徴やサービス（学習スペース、YAコーナー、バリアフリー対応、各種イベント等）を分かりやすく紹介している。</p> <p>電子図書館の使い方についての説明</p> <p>利用者IDと初期パスワードでログインできる。ログイン不要で閲覧可能な農業マップや市制50周年記念絵本『ぼくの☆（ほし）をしりませんか?』などが人気コンテンツである。</p> <p>「読み放題パック」は学校向けに導入された電子資料で、同時に複数人が制限なく閲覧でき、授業や朝読書、調べ学習に活用されている。閲覧数の統計では、知識系絵本の利用が多いことが分かる。</p> <p>距離や時間の都合で来館が難しい子どもたちにも、タブレット等を通じて図書館を知ってもらうためであり、今後の活用と周知への協力を呼びかけたい。</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>プロモーションビデオの中では「全ての市民に本との出会いを」とあったが、視覚障がい者だけでなく、加齢等により活字を読むことが困難になった方へのサービスは、どのように行っているのか。</p> |
| 図書館 | <p>音訳、対面朗読（Zoom 含む）、宅配サービス、電子図書館の読み上げ機能、バリアフリー映画会の実施、点字本やLLブックの提供などを行っている。</p> <p>また、市の障がい福祉課及び高齢者福祉課と連携し、周知に努めている。あわせて、音訳者の養成講座やレベルアップ講座を実施している。</p> <p>次回日程決定 今回は3月6日（金）午前10時から中央図書館のレセプションルームにて行う。</p> <p>4. 閉会</p> |